

被災中学生の英語学習支援

に連... 九... 昨秋、取引を再開したという。東京電力福島第一原子

入社式の記念撮影で、手を取り合い笑顔を見せる新入社員ら。つくば市のカスミで

「4年間東京で過ごし、茨城のよさを再確認し

つくば市で不登校や学習障害の子どもを支援するNPO法人「リヴォルヴ学校教育研究所」が、東日本大震災で被災した中学生の英語学習を支援しようと、英語の野線ノートを作製した。書くのが苦手な生徒も正しく読み書きできるよう工夫を施している。

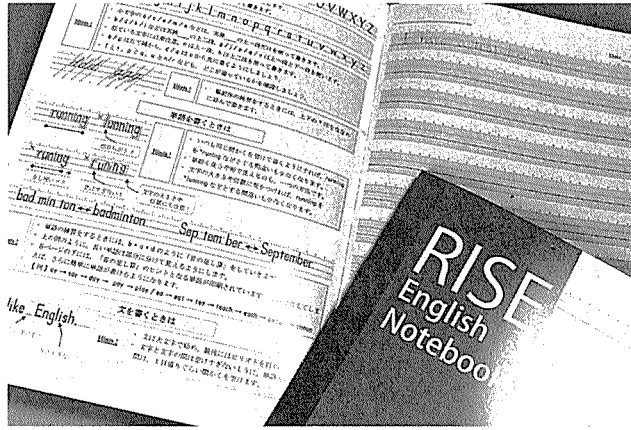
同研究所が運営するフリースクール「ライズ学園(同市)では、卒園生の山本雄一さん(16)の提案をきっかけに、震災直後から園で不要になった学用品を被災地に贈り始めた。インターネットで全国に協力を呼び掛け、支援活動が広がる中、英

野線ノート 3万冊作製

つくばの「学力伸びれば」NPO

語の野線ノートが不足し、代わりに余った大学ノートが使われていることを知った。小野村哲理事長は、ノートを無料配布しようとしてメーカーに協力を求めたが支援を得られず、「買うより安い」と自費での作製に踏み切った。

ノートは▽a、pなどを正しい位置に書くよう4線内を着色▽単語と単語の間隔をあける際の目安にドットを配置――などが特徴。小野村理事長は「野線ノートを使わないことで、英語を書く際につまずく生徒がいる。学習障害の有無にかかわらず、英語力が伸びる中学生が増えれば」と話す。



開発された英語野線ノート。「単語を長さや形で覚える」など具体的なアドバイスが裏表紙に記載されている＝つくば市で

するほか、一般に1冊200円で販売、利益は被災地支援に役立てられる。問い合わせは029・856・8143(同研究所)。

【山内真弓】

新会長に安江氏 県弁護士会

今年度の役員人事を発表し、新会長に安江祐氏(54)、副会長に▽中本義信(38)▽野村貴広(35)▽松沼和弘(44)▽百目鬼明子の4氏が就いた。5人は同日、県庁で記者会見し、安江会長は「人間の復興なくして東日本大震災からの本当の復興はない。支援を続けていく」と決意を述べた。



【岩嶋悟】「7度目の道路交」開始。09年の道路交

土浦市長が容認

15施設で新たに契約

土浦市の中川清市長は2日の定例記者会見で、東京電力が4月から電気料金を値上げすることについて「これまでの説明の経緯、火力発電の燃料費負担などを考えれば、現状においては容認せざるを得ない」と述べ、下水道ポンプ場など15施設で平均17%値上げを受け入れ新たに契約したことを明らかにした。

一方、中川市長は「6

東電値上げ

【福沢光一】

茨城

IBARAKI
nito@mainichi.co.jp

水戸支局

〒310-0011
水戸市三の丸1の5の18
☎029(221)3161
FAX029(232)0438
つくば支局
〒305-0051
つくば市二の宮1の22の17
☎029(851)0166
日立通信部
☎0294(22)5555
土浦通信部
☎029(821)0214
鹿島通信部
☎0299(82)1820
古河通信部
☎0280(32)0476
取手通信部
☎0297(71)3808

広告は

茨城毎日広告社
本社(水戸)
☎029(225)2001
土浦営業所
☎029(823)2001

購読は

☎0120-468-012

インターネット

毎日新聞ニュース
http://mainichi.jp/
茨城のニュース
http://mainichi.jp/area/ibaraki/
読者の広場
「まいまいくらぶ」
http://my-mai.mainichi.co.jp/
携帯ニュース

